



戦前の玉陵



尚泰王葬儀の仮祭壇(1901年)

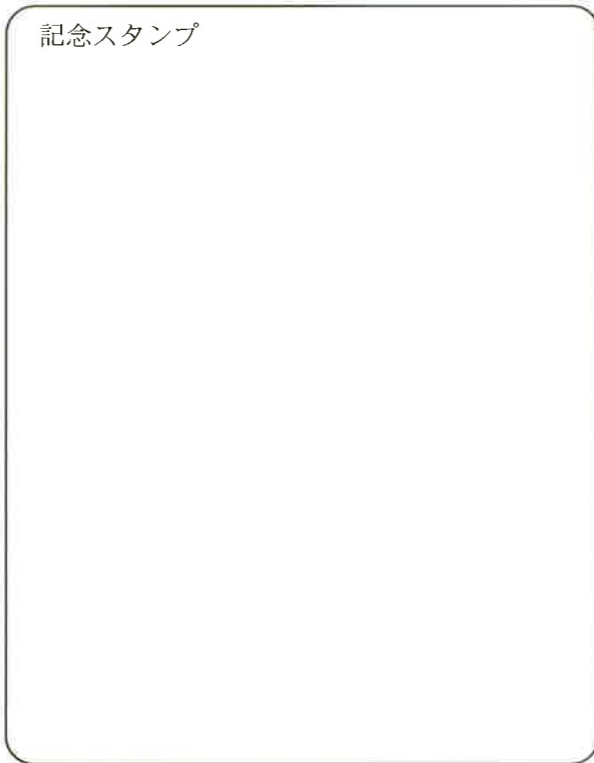


尚典侯の葬列(1920年)

ご案内



記念スタンプ



- 観覧時間: 午前9時～午後6時
(入場締切 午後5時30分)
- 観覧料金: 大人300円(団体240円)
小人150円(団体120円)
※団体扱いは20人以上

備考 1. 小人とは、中学生以下をい、大人とは、それ以外の方をいいます。
2. 保護者が同伴する小学校就学前の小人は、無料とします。

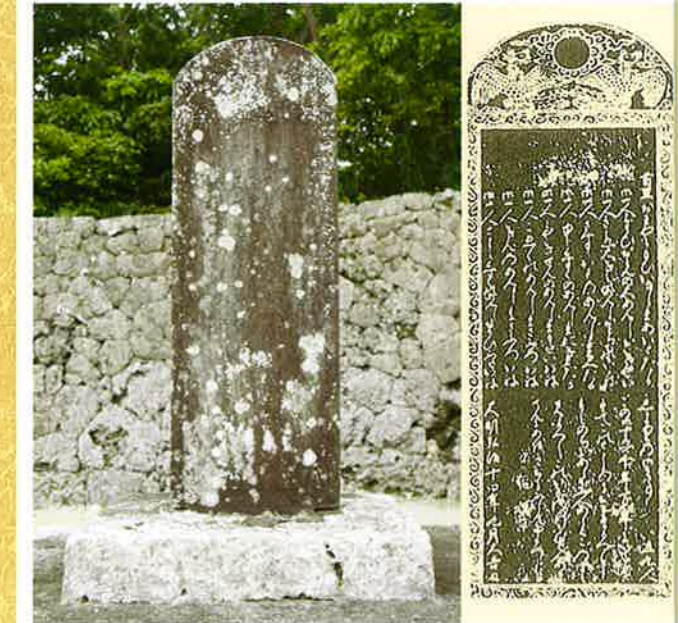
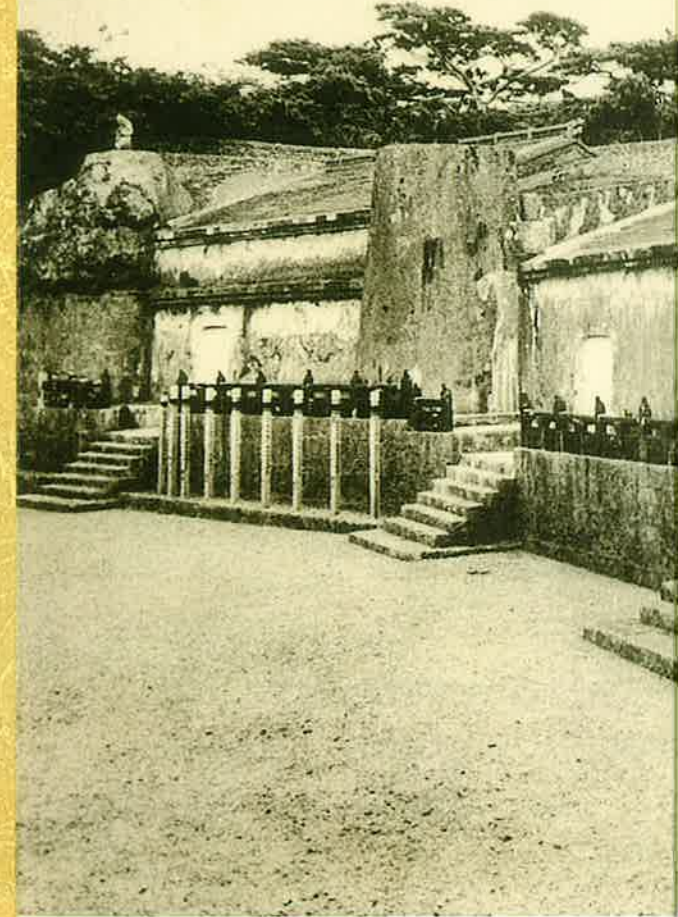
玉陵管理事務所 ☎903-0815 那覇市首里金城町1-3 TEL(098)885-2861
那覇市市民文化部文化財課 ☎900-8585 那覇市泉崎1-1-1 TEL(098)917-3501
<http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/kyouikubunkazai/>

世界遺産
国指定重要文化財・史跡

たま うどうん

玉陵

TAMA-U-DUN



たま うどうん
玉陵碑

この碑文は1501(弘治14)年に建てられたもので、玉陵に葬られるべき人々を規定したものです。尚真王外8人の名が記され、この書き付けに背くならば、“天に仰ぎ、地に伏して崇るべし”と結んでいます。碑文には長男・次男の名が見えず、王室に勢力の対立があり、廃されたと見られています。

たま うどん
玉 陵

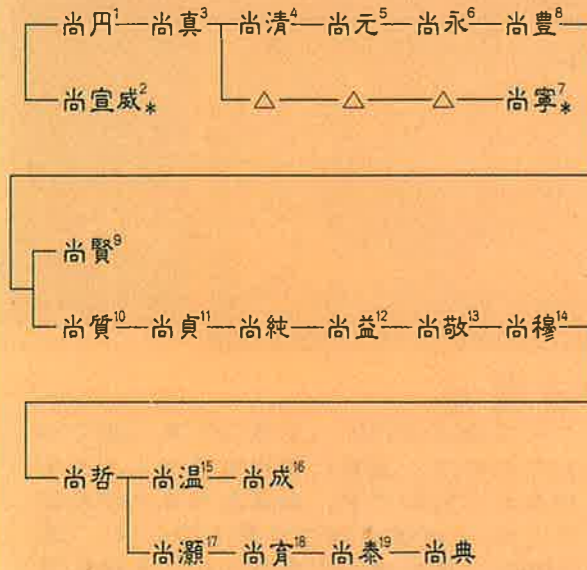
- 1972 (昭和47)年 5月15日 国指定重要文化財(建造物)
- 1972 (昭和47)年 5月15日 国指定史跡
- 2000 (平成12)年12月 2日 世界遺産

玉陵は1501年、尚真王が父尚円王の遺骨を改葬するために築かれ、第二尚氏王統の陵墓となりました。

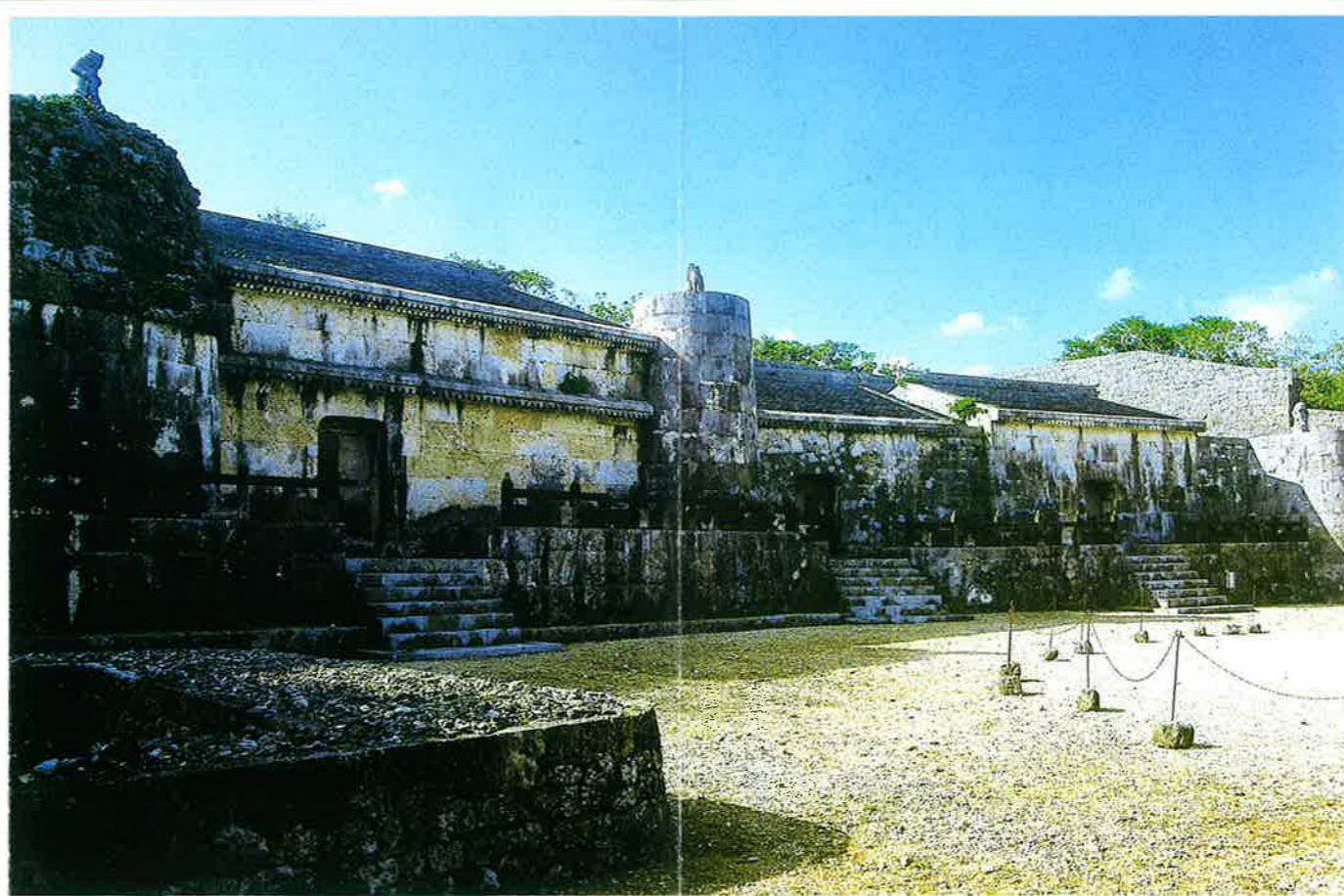
墓室は三つに分かれ、中室は洗骨前の遺骸を安置する部屋、創建当初の東室は洗骨後の王と王妃、西室には、墓前の庭の玉陵碑に記されている限られた家族が葬られました。全体のつくりは、当時の板葺き屋根の宮殿を表した石造建造物になっています。墓域は、2,442㎡。

沖縄戦で大きな被害を受けましたが、1974年から3年余りの歳月をかけ、修復工事が行なわれ、往時の姿を取戻して今日に至っています。

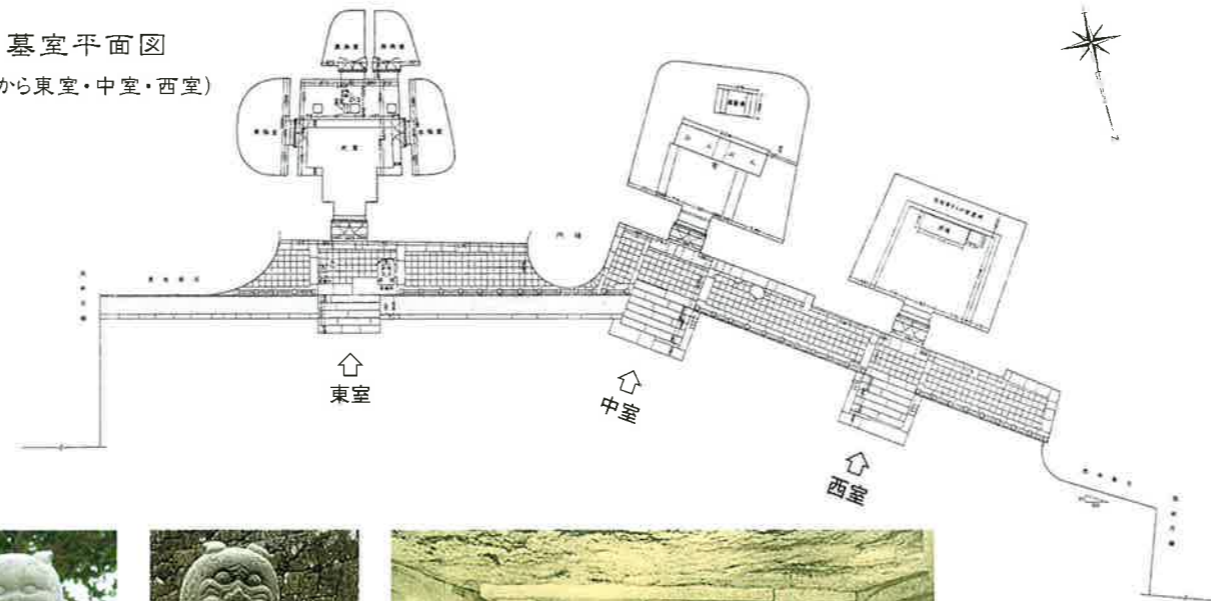
第二尚氏歴代国王



*は玉陵に葬られていない。



墓室平面図
(左から東室・中室・西室)



雌獅子



雄獅子



東室の内部

TAMA-U-DUN

- Designated as a National Important Cultural Property on May 15, 1972
- Designated as a National Historic Site on May 15, 1972
- Registered as a World Heritage Site on December 2, 2000

Tama-u-dun was built in 1501 to re-entomb the remains of father King Sho En by King Sho Shin and has become the Royal Mausoleum of the second Sho dynasty.

The tomb consists of three rooms, the center room was for placing the remains before washing the bones; the east room was originally for the kings and queens; the west room, according to the inscription on the stone monument in the front court, was for the rest of the family members. The entire tomb displays an architectural style of the royal palace of that time, a stone building with wooden roof. It has a site area reaching 2,442 square meters.

Tama-u-dun was heavily damaged in the Battle of Okinawa, but through restoration works that took more than three years from 1974, it recovered its original form that shows today.

玉 陵

- 1972年5月15日 國家重點建築工程
- 1972年5月15日 國家重點保護名勝古跡
- 2000年12月 2日 世界遺產登記

玉陵是尚真王於1501年將其父親的遺骨改遷並建墓成為第二尚氏王統的陵墓。

陵墓墓室分為三間，中室為安放洗骨前遺體的墓室興建當初的東室為安放洗骨後大王和王妃遺骨的墓室，在墓前庭院的玉陵碑上所記載的家庭成員，全部安葬於西室。

玉陵的整體結構為石製，突出模仿了當時木製屋頂的宮殿建築風格。陵墓占地面積2,442平方米。

在沖繩大戰中，玉陵曾經飽受了戰爭的嚴重創傷。從1974年開始，歷經了三年多的重新修繕，使往日的容貌得以重現。

타마우둔 (왕릉)

- 1972년(쇼와 47년) 5월 15일 국가지정중요문화재(건조물)
- 1972년(쇼와 47년) 5월 15일 국가지정사적
- 2000년(헤이세이 12년) 12월 2일 세계유산 등록

타마우둔은 1501년 쇼신왕이 아버지인 쇼엔왕의 유골을 개장하기 위해 지은 것으로, 제 2 상씨왕조의 능묘입니다.

묘실은 세개로 나뉘어 있는데, 중실(中室)은 선골 전의 유해를 안치하는 방이고, 창건 당초의 동실은 선골 후의 왕과 왕비, 서실은 묘 앞 정원에 있는 왕릉비에 기록되어 있는 한정된 가족이 매장되어 있는 방입니다.

전체적인 구조는 판자 지붕으로 되어 있는 당시의 궁전을 표현한 석조건물입니다. 묘지의 넓이는 2,442 평방미터.

제2차 세계대전 당시 큰 피해를 입었으나 3년 남짓되는 기간동안 복구공사가 진행되어 옛 모습을 되살려 오늘날에 이르고 있습니다.